

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21101	無限の可能性開発講座 I Development of Limitless Potential	横田・長妻			1	必修	1前期

科目の概要

本科目は、社会に出て自律していく上で必要な社会人基礎力や一般知識・技能、四大精神の理解と修得、実践を目的としている（ディプロマポリシー①②④）。具体的には、アイスブレイク等の人間関係作りから、情報カードを使ったグループワーク、ある課題に対してのディスカッションを通して、チームで課題に取り組む力及びプレゼンテーションスキル、コミュニケーション力などを修得する。この授業で得た経験や知識を活用することにより実生活および栄養士の現場で起こり得る課題に対して解決できることを学ぶ（ディプロマ・ポリシー⑥）。

学修内容	到達目標
① 社会で仕事をする際に必要となる『四大精神』『社会人基礎力』『pisa型学力』の必要性について学ぶ。 ② グループワークやグループディスカッションを通して、『チームで働く力』（コミュニケーション力）を身に付ける。 ③ プレゼンテーションスキル（聞き手が聞きやすい話し方で話す力、人前で話す力）を身に付ける。 ④ 獲得した知識、技術を活用して課題を解決する力を身に付ける。	① 『四大精神』『社会人基礎力』『pisa型学力』について学修し、社会で仕事をするために必要であることを理解することができる（ディプロマポリシー①②）。 ② グループワークやグループディスカッションを通して、『チームで働く力』（コミュニケーション力）を身に付けることができる。（ディプロマポリシー①②④） ③ 聞き手が理解できるように伝えたいことを整理し、相手に伝わる話し方を10人程度の前で実践することができる（ディプロマポリシー②④）。 ④ 獲得した知識、技術を活用して課題を解決できる（ディプロマポリシー④⑥）。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分の課題を把握し、目標を持ってグループワークに取り組む。授業での学びや気づきを元に、授業外の時間（日常生活の中）で積極的に実践し、経験を多く積んでいる。
	働きかけ力	
	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身で目標を設定する。設定した目標を意識して受講し、困難があっても粘り強く取り組み目標を達成できる。
考え抜く力	課題発見力	現状と目標のギャップを元に、その解決方法について、理由を挙げて論理的に述べることができる。
	計画力	
	創造力	他者の意見や既存の知識をそのまま使うのではなく、知識や考え方を組み合わせて、新しいアイデアを作ることができる。他者の意見をヒントに新しいアイデアを作ることができる。
チームで働く力	発信力	グループワークでの意見交換やプレゼンテーションの場で、相手が理解し易いように伝え方を工夫できる。非言語コミュニケーションに気を付けて発表できる。
	傾聴力	話を聞く際傾聴の姿勢（うなずき・あいづち）、メモができる。わからない点、少しでも不明な点があった時自己解釈せず、質問をして確かめることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考え方についても、客観的に判断して正しいと思ったことは受入れることができる。
	状況把握力	自分が保有している情報について、適切な場面で発信することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教育システム「学びの泉」愛知学泉短期大学

他科目との関連、資格との関連

本科目で身に付ける社会人基礎力は、他の科目で実施するアクティブラーニングの際に必要となる。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> グループワークなど他者と協力して取り組む課題が中心となる。他者と協力して取り組むことは社会で仕事をする際に必要となる力である。学生時代身に付ける力として、苦手意識があってもチャレンジしてほしい。 授業外の行動事例がわからない場合はテキストを参考にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークはゲーム的要素を取り入れた内容で行う。楽しみながら取り組んでいただきたい。 身に付けた社会人基礎力は、授業中だけでなく日常生活でも発揮できるようにしていただきたい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		50	①	✓	
					②	✓	
					③		
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>【レポート（第15回授業）】「具体的行動」「課題設定」「目標設定」の記述と「記述量」を評価ポイントとする。S（秀）評価ポイント全てが含まれ論理的に記述されている</p> <p>A（優）論理的に記述できているが、評価ポイントが2つしか記述されていない。もしくは、評価ポイントは3つ含まれているが論理的な記述になっていない。</p> <p>【成果発表（口頭・実技）】事前に提示する評価項目に基づいて評価する。S（秀）評価項目全てできている。A（優）評価項目の4つができている。</p>	<p>【レポート（15回授業）】「具体的行動」「課題設定」「目標設定」の記述と「記述量」を評価ポイントとする。B（良）評価ポイントが2つしか記述されていない。論理的な記述になっていない。</p> <p>C（可）評価ポイントが1つしか記述されていない。論理的な記述になっていない。</p> <p>【成果発表（口頭・実技）】事前に提示する評価項目に基づいて評価する。B（良）評価項目の3つができている。C（可）評価項目の2つができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業概要説明(シラバスの説明) ・アイスブレイクエクササイズ ・コミュニケーション実践ワーク ・振り返りシート記入(横田、長妻) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイクエクササイズ ・コミュニケーション実践ワーク ・社会人基礎力とは ・振り返りシートの目的・書き方 ・振り返りシート記入(横田、長妻) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：一週間の振り返り、前週のワークを経て行動が変わったことを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・「前に踏み出す力」についての説明。 ・振り返りシート記入(横田) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：①一週間の振り返りを整理しておく。 ②テキストを用いて『主体性』の項目を読んで理解しておくこと。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・講義「チームで働く力」の特に「発信力」の説明。 ・振り返りシート記入(横田) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：①一週間の振り返りを整理しておく。 ②テキストを用いて「発信力」の項目を読んで理解すること。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「傾聴力」 ・ペアワーク ・「傾聴力」について説明。 ・振り返りシート記入(横田) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：①一週間の振り返りを整理しておく。 ②テキストを用いて「傾聴力」の項目を読んで理解すること。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
6	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・「情況把握力」について説明。 ・振り返りシート記入(横田) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：①一週間の振り返りを整理しておく。 ②テキストを用いて「情況把握力」の項目を読んで理解すること。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 情況把握力 規律性
7	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク(コンセンサスゲーム) ・「柔軟性」の説明 ・振り返りシート記入(横田、長妻) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：一週間の振り返りを整理しておく。前週の振り返りからグループワークでの目標を考える。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
8	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク(コンセンサスゲーム) ・「チームで働く力」についてのまとめ ・振り返りシート記入(横田、長妻) 	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。 	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：①テキストを用いて『柔軟性』の項目を確認する。 ②授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 情況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・グループワーク ・「発信力」(非言語)によるコミュニケーションについての説明。 ・振り返りシート記入(横田、長妻)	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	・グループワーク(はやぶさ号殺人事件) ・「創造力」についての説明。 ・振り返りシート記入(横田、長妻)	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	・グループワーク ・次回以降の発表についての説明 ・振り返りシート記入(横田)	演習・講義 振り返りシートにコメントを記載しフィードバックする	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・テーマに基づいて、規定量以上の振り返りを記述できる。	予習：一週間の振り返りを整理しておく。 復習：授業で学んだ能力について、日常生活の中で実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	発表に向けての準備 ・個人ワーク ・グループワーク ・振り返りシート記載(横田)	演習(必要に応じてnotebook LM等を使用) 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・振り返りテーマについて、ワークの経験を元に、規定量の文章で述べる事ができる。	予習：テーマに沿った内容を自分なりにまとめておく。 復習：グループ内で決まった方向性の中で、自分ができる役割について考えておくこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	発表に向けての準備 ・グループワーク ・振り返りシート記載(横田)	演習(必要に応じてnotebook LM等を使用) 振り返りシートにコメントを記載し返却	・決められたワークに取り組む事ができる。 ・プレゼンテーションスキルについて、自身の課題、目標を見つける。 ・振り返りテーマについて、ワークの経験を元に、規定量の文章で述べる事ができる。	予習：これまでを振り返り、グループワークにおける行動目標を立てておくこと。 復習：グループワークの内容がより良いものになるように進めておくこと。 発表原稿案を考えておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	プレゼンテーション グループ発表(横田、長妻)	グループ発表(PC使用) 振り返りシートにコメントを記載し返却	・個人発表、振り返りシートにおいて、評価基準の3レベルを達成することができている。	予習：これまでを振り返り、グループワークにおける行動目標を立てておくこと。発表原稿案を考えておく。 復習：グループワークの内容がより良いものになるように進めておくこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	グループ発表の振り返り 社会人基礎力のセルフチェック	前回発表した動画の振り返り ・自分たちの発表の反省点、良かった点など ・他の班の発表の感想など ・これまでの授業および意識した社会人基礎力についてなど 以上を振り返りシートにまとめて提出	振り返りシートにおいて、評価基準の3レベルを達成することができている。	これまでの授業を振り返り、意識した社会人基礎力をまとめておくこと 社会人基礎力のセルフチェック	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力